

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションデジタルマーケティング	学科名	ファッションアドバンス科			授業方法	演習
担当教員	酒井聡、岡本典子、中村仁美、多田晋平	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	今後ファッション業界に必要なスキルとなるAIの活用についての基本的な活用方法を理解し利用することで実際の仕事効率化を図れる人材を育成する						
到達目標	前期/AIの活用例を知り、グループで課題発見から検証までを行う 後期/前期に習得したAIの活用方法を活かしブランド企画に役立て作品を製作し発表を行う						
授業計画・内容							
第1週	・講義の目的・概要 ・世の中に浸透しつつあるテクノロジー			第16週	・ファッション業界の新しいキャリア形成		
第2週	・ChatGPTで記事制作			第17週	・AIが進化する世界で価値を出すには？		
第3週	・制作した記事の発表			第18週	・企画の発表		
第4週	・データ・ファクトフルネスの重要性 ・データ内容と課題の説明			第19週	・画像生成AIでデザイン		
第5週	・トレンドリサーチ (hashtag/google trend)			第20週	・画像生成AIでデザイン		
第6週	・トレンドリサーチの発表 ・人の「感性」はどこから来るのか？			第21週	・画像生成AIでデザイン		
第7週	・見つけたトレンドを企画に仕上げるには			第22週	・作品の発表		
第8週	・トレンドリサーチ / ChatGPTを活用した企画			第23週	・企画の発表		
第9週	・トレンドリサーチ / ChatGPTを活用した企画			第24週	・トレンドリサーチ / ChatGPTを活用した企画		
第10週	・企画の発表 ・画像生成AIとは			第25週	・トレンドリサーチ / ChatGPTを活用した企画		
第11週	・画像生成AIでデザイン			第26週	・トレンドリサーチ / ChatGPTを活用した企画		
第12週	・画像生成AIでデザイン			第27週	・トレンドリサーチ / ChatGPTを活用した企画		
第13週	・作品の発表			第28週	・トレンドリサーチ / ChatGPTを活用した企画		
第14週	・人の心に刺さるプレゼンテーションを学ぶ			第29週	・作品の発表		
第15週	・作品の発表 ・働きながらチャレンジする「MVP」という手法			第30週	まとめ		
評価方法	作品発表の内容やプレゼンの内容により評価を行う						
教科書 教材など							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	ブランドプロデュース(企画)	学科名	ファッションアドバンス科			授業方法	実習
担当教員	越智 輝佳	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・授業内容	授業概要:ブランドプロデュース 課題解決型のチームミッション。 授業方法:製作課題をチーム毎に分かれて、企画・製作・販売までを計画して行っていく授業です。						
到達目標	技術力、協調性、プレゼン力といった社会人として必要になってくる技術や経験を身につけるための授業。						
授業計画・内容							
第1週	ブランドプロデュース1 ※オリジナル教材に基づいて行います	第16週	ブランドプロデュース16 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第2週	ブランドプロデュース2 ※オリジナル教材に基づいて行います	第17週	ブランドプロデュース17 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第3週	ブランドプロデュース3 ※オリジナル教材に基づいて行います	第18週	ブランドプロデュース18 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第4週	ブランドプロデュース4 ※オリジナル教材に基づいて行います	第19週	ブランドプロデュース19 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第5週	ブランドプロデュース5 ※オリジナル教材に基づいて行います	第20週	ブランドプロデュース20 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第6週	ブランドプロデュース6 ※オリジナル教材に基づいて行います	第21週	ブランドプロデュース21 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第7週	ブランドプロデュース7 ※オリジナル教材に基づいて行います	第22週	ブランドプロデュース22 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第8週	ブランドプロデュース8 ※オリジナル教材に基づいて行います	第23週	ブランドプロデュース23 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第9週	ブランドプロデュース9 ※オリジナル教材に基づいて行います	第24週	ブランドプロデュース24 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第10週	ブランドプロデュース10 ※オリジナル教材に基づいて行います	第25週	ブランドプロデュース25 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第11週	ブランドプロデュース11 ※オリジナル教材に基づいて行います	第26週	ブランドプロデュース26 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第12週	ブランドプロデュース12 ※オリジナル教材に基づいて行います	第27週	ブランドプロデュース27 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第13週	ブランドプロデュース13 ※オリジナル教材に基づいて行います	第28週	ブランドプロデュース28 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第14週	ブランドプロデュース14 ※オリジナル教材に基づいて行います	第29週	ブランドプロデュース29 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第15週	ブランドプロデュース15 ※オリジナル教材に基づいて行います	第30週	ブランドプロデュース30 ※オリジナル教材に基づいて行います				
評価方法	出席率・製作物・授業最終日に行うプレゼンを試験として総合的に評価します。						
教科書教材など	オリジナルの教材を製作し、それに基づいて授業を行います。						
実務経験	アパレル営業、企画MD実務10年以上				実務経験のある教員による授業科目		✓

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	ブランドプロデュース(製作)	学科名	ファッションアドバンス科	授業方法	実習
担当教員	中村 仁美	学年・学期	1年・通年	時間数	90 時間
授業概要 ・ 授業内容	授業概要:ブランドプロデュース 課題解決型のチームミッション。 授業方法:製作課題をチーム毎に分かれて、企画・製作・販売までを計画して行っていく授業です。				
到達目標	技術力、協調性、プレゼン力といった社会人として必要になってくる技術や経験を身につけるための授業。				
授業計画・内容					
第1週	ブランドプロデュース1 ※オリジナル教材に基づいて行います	第16週	ブランドプロデュース16 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第2週	ブランドプロデュース2 ※オリジナル教材に基づいて行います	第17週	ブランドプロデュース17 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第3週	ブランドプロデュース3 ※オリジナル教材に基づいて行います	第18週	ブランドプロデュース18 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第4週	ブランドプロデュース4 ※オリジナル教材に基づいて行います	第19週	ブランドプロデュース19 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第5週	ブランドプロデュース5 ※オリジナル教材に基づいて行います	第20週	ブランドプロデュース20 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第6週	ブランドプロデュース6 ※オリジナル教材に基づいて行います	第21週	ブランドプロデュース21 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第7週	ブランドプロデュース7 ※オリジナル教材に基づいて行います	第22週	ブランドプロデュース22 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第8週	ブランドプロデュース8 ※オリジナル教材に基づいて行います	第23週	ブランドプロデュース23 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第9週	ブランドプロデュース9 ※オリジナル教材に基づいて行います	第24週	ブランドプロデュース24 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第10週	ブランドプロデュース10 ※オリジナル教材に基づいて行います	第25週	ブランドプロデュース25 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第11週	ブランドプロデュース11 ※オリジナル教材に基づいて行います	第26週	ブランドプロデュース26 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第12週	ブランドプロデュース12 ※オリジナル教材に基づいて行います	第27週	ブランドプロデュース27 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第13週	ブランドプロデュース13 ※オリジナル教材に基づいて行います	第28週	ブランドプロデュース28 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第14週	ブランドプロデュース14 ※オリジナル教材に基づいて行います	第29週	ブランドプロデュース29 ※オリジナル教材に基づいて行います		
第15週	ブランドプロデュース15 ※オリジナル教材に基づいて行います	第30週	ブランドプロデュース30 ※オリジナル教材に基づいて行います		
評価方法	出席率・製作物・授業最終日に行うプレゼンを試験として総合的に評価します。				
教科書 教材など	オリジナルの教材を製作し、それに基づいて授業を行います。				
実務経験				実務経験のある教員による 授業科目	

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	クリエイティブデザイン	学科名	ファッションアドバンス科	授業方法	実習
担当教員	中村 仁美	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間
授業概要 ・ 授業内容	今求められる新しさのあるデザインを発想、表現を学ぶ。 生成AI、4DBOX、イラストレーターなどのデジタルツールを使用し、作品や商品の新しいデザイン表現力を習得させる。				
到達目標	生成AI、4DBOX、イラストレーターなどのデジタルツールを使用し、オリジナル柄を作成できるようになる。				
授業計画・内容					
第1週	生成AIを使ったデザイン制作	第16週	柄提案企画書の作成		
第2週	↓	第17週	↓		
第3週	↓	第18週	↓		
第4週	4DBOXを使ったデザイン制作	第19週	3DCADデータに使うオリジナル柄の制作		
第5週	↓	第20週	↓		
第6週	↓	第21週	↓		
第7週	↓	第22週	オリジナルスカーフの作成		
第8週	イラストレーターを使ったデザイン制作	第23週	↓		
第9週	↓	第24週	↓		
第10週	↓	第25週	↓		
第11週	↓	第26週	卒業展作品製作		
第12週	オリジナル柄を生地に転写する	第27週	↓		
第13週	↓	第28週	↓		
第14週	↓	第29週	↓		
第15週	↓	第30週	↓		
評価方法	出欠状況、授業態度、課題点を考慮して成績を評価する。				
教科書 教材など					
実務経験	デザイナー実務経験9年	実務経験のある教員による 授業科目			✓

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルプロダクト		学科名	ファッションアドバンス科		授業方法	実習
担当教員	藤原里栄		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択 必須
授業概要 ・ 授業内容	デザインに応じたパターンの作成ができ、見積もり作成までの過程の理解を深める。CADを使用することにより、作業効率をはかり、正確な用尺の把握、または、製品のクオリティの高さを意識した商品制作をすすめる。						
到達目標	CADによる縫製仕様を理解したパターンの作成。正確さがはかれるようになることを目標とする。コスト意識をもったパターンの作成、縫製工程への理解ができた、量産パターン作成までを可能とする。						
授業計画・内容							
第1週	ランチョンマット企画		第16週	タイトスカートパターン作成①			
第2週	パッチワークパターン作成①		第17週	タイトスカートパターン作成②			
第3週	パッチワークパターン作成②		第18週	グレーディングルール内容説明			
第4週	パッチワークパターン出力		第19週	グレーディングルールポイント作成①			
第5週	ジーンズの採寸・各部名称・性質口		第20週	グレーディングルールポイント作成②			
第6週	ジーンズのサイズグレーディング		第21週	タイトスカートグレーディング			
第7週	パッチワークパンツ企画		第22週	ダンガリーシャツ企画			
第8週	パッチワークパンツパターン作成①		第23週	ダンガリーシャツデザイン決定			
第9週	パッチワークパンツパターン作成②		第24週	ダンガリーシャツパターン作成①			
第10週	パッチワークパンツパターン作成③		第25週	ダンガリーシャツパターン作成②			
第11週	パターンチェック / 書き出し①		第26週	ダンガリーシャツパターン作成③			
第12週	パターンチェック / 書き出し②		第27週	縫い代付け / ラベル付け			
第13週	マーキング / 用尺出し		第28週	マーキング / 用尺出し			
第14週	パターンメーキング前期テスト		第29週	パターンメーキング後期テスト			
第15週	パターンメーキングテスト振り返り		第30週	パターンメーキングテスト振り返り			
評価方法	課題提出(40%) / テスト(40%) / 授業態度・出席(20%)						
教科書 教材など	誌上・パターン塾「ジャケット&コート編」/文化ファッション大系「メンズウェアⅠ」						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	サンプルメイキング		学科名	ファッションアドバンス科		授業方法	実習
担当教員	岡本 敏枝		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択
授業概要	ファーストパターン、工業用パターンの基礎を理解し、JIS記号、縫い代付け、グレーディング、マーキングの知識を学ぶ。工業用パターンや成人女子用衣料サイズの理解を深めることでより良いアパレル製造企画を行うことができる。						
授業内容	産学連携で依頼を受けたジャケットを実寸サイズで原型からの展開を行い、ファーストパターンの作成、ピンワーク、縫製までを行う						
到達目標	パターンメイキング技術検定試験2級レベルのアパレルアイテムデザインから原型を使用し、デザインを読み取りファーストパターンを作成し、縫製することができる。						
授業計画・内容							
第1週	工業用パターン知識①			第16週	商品製造企画Ⅱ		
第2週	工業用パターン知識②			第17週	商品製造企画Ⅱ		
第3週	工業用パターン知識③			第18週	フラットパターン実技①(パターンメイキング技術検定対策)		
第4週	工業用パターン知識④			第19週	フラットパターン実技②(パターンメイキング技術検定対策)		
第5週	工程の分析と設計①			第20週	フラットパターン実技③(パターンメイキング技術検定対策)		
第6週	工程の分析と設計②			第21週	フラットパターン実技④(パターンメイキング技術検定対策)		
第7週	工程の分析と設計③			第22週	商品製造企画Ⅲ		
第8週	生産管理基礎①			第23週	商品製造企画Ⅲ		
第9週	生産管理基礎②			第24週	商品製造企画Ⅲ		
第10週	商品製造企画Ⅰ			第25週	商品製造企画Ⅲ		
第11週	商品製造企画Ⅰ			第26週	商品製造企画Ⅳ		
第12週	商品製造企画Ⅰ			第27週	商品製造企画Ⅳ		
第13週	商品製造企画Ⅰ			第28週	商品製造企画Ⅳ		
第14週	商品製造企画Ⅱ			第29週	商品製造企画Ⅳ		
第15週	商品製造企画Ⅱ			第30週	まとめ		
評価方法	提出物、出席、授業態度、試験点数を総合的に評価						
教科書 教材など	文化ファッション体系アパレル生産企画 文化ファッション体系アパレル製造企画 製図用具一式 縫製道具一式						
実務経験	縫製指導実務経験10年以上					実務経験のある教員による 授業科目	
	✓						

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	イベントディレクション	学科名	ファッションアドバンス科	授業方法	実習
担当教員	中村 仁美	学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間
授業概要 ・ 授業内容	3年間の集大成として各コースで学んだ知識や技術を活かし、グループで展示と、ショー形式に分かれて発表する。 グループで話し合い、トレンドの分析、デザインを発想し作品を作る。 展示の見せ方、ショー演出の仕方を考え表現力を身につけると共に各自の責任感やコミュニケーション力を身につける。				
到達目標	一人1体の作品を製作し卒業制作展にて発表・展示を行う。 3年間の学びを活かした作品を製作する。				
授業計画・内容					
第1週	製作物デザイン・コンセプト案出し	第16週	本縫い製作		
第2週	↓	第17週			
第3週	↓	第18週			
第4週	製作物デザイン・コンセプトチェック	第19週			
第5週	パターン作成	第20週			
第6週	↓	第21週			
第7週	↓	第22週			
第8週	↓	第23週	↓		
第9週	↓	第24週	製作物1次チェック		
第10週	仮縫い作成	第25週	↓		
第11週	↓	第26週	↓		
第12週	↓	第27週	↓		
第13週	パターン修正	第28週	製作物2次チェック		
第14週	↓	第29週	↓		
第15週	↓	第30週	卒業展発表準備		
評価方法	出欠状況、授業態度、製作物のクオリティを考慮して成績を評価する。				
教科書 教材など					
実務経験				実務経験のある教員による 授業科目	

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションゼミ	学科名	ファッションアドバンス科	授業方法	実習
担当教員	中村 仁美	学年・学期	1年・通年	時間数	300 時間
授業概要 ・ 授業内容	アパレル業界の顧客のニーズや市場トレンドを理解し、効果的なマーケティング戦略を展開する方法を店舗運営を通して実践で学びます。マーチャンダイジング演習の授業と連携して、古着屋店舗運営を行います。 学生のメンバー間での協力や役割分担を通じてチームワークを身に付け、リーダーシップ力も発揮する機会を養います。				
到達目標	市場の店舗・商品リサーチ、実際に自分たちで古着の買い付け、リメイク商品の企画・製作を計画的に行えるようになる。 店舗への集客のためにプロモーション活動も学生主体で実施し、総合的なマーケティング力を身に付けて行動できるようになる。				
授業計画・内容					
第1週	企画説明	第16週	第2回 振り返り、報告書の作成		
第2週	ターゲットリサーチ、商品リサーチ	第17週	報告書の作成、発表		
第3週	出店エリアのリサーチ	第18週	第3回 出店準備		
第4週	出店目標決め、販売物決め	第19週	↓		
第5週	販売物準備	第20週	第3回 出店前シュミレーション		
第6週	↓	第21週	第3回 振り返り、報告書の作成		
第7週	↓	第22週	報告書の作成、発表		
第8週	↓	第23週			
第9週	第1回 出店前シュミレーション	第24週			
第10週	第1回 振り返り、報告書の作成	第25週	↓		
第11週	第2回 店舗出店準備	第26週	↓		
第12週	↓	第27週	第4回 出店前シュミレーション		
第13週	↓	第28週	第4回 振り返り、報告書の作成		
第14週	↓	第29週	報告書の作成、発表		
第15週	第2回 出店前シュミレーション	第30週	まとめ		
評価方法	出欠状況、授業態度、製作物のクオリティを考慮して成績を評価する。				
教科書 教材など					
実務経験				実務経験のある教員による 授業科目	

2024年度 授業計画(シラバス)

科目名	マーチャндаイジング実習	学科名	ファッションアドバンス科			授業方法	実習
担当教員	高瀬 修	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	実際の企業活動を模した組織でショップ運営を行い、企業としての全体最適を学ぶ						
到達目標	各人が積極的にショップ運営に関与し、納得のできる実績と行動指針を身に着ける						
授業計画・内容							
第1週	授業内容の説明	第16週	報告書の提出と発表				
第2週	授業内容の説明	第17週	報告書の提出と発表				
第3週	授業内容の説明	第18週	出店準備				
第4週	企画内容の発表	第19週	出店準備				
第5週	企画内容の発表	第20週	出店準備・シュミレーション				
第6週	出店準備経過報告	第21週	11/3出店				
第7週	出店準備経過報告	第22週	報告書発表と次回出店計画				
第8週	出店準備経過報告	第23週	報告書発表と次回出店計画				
第9週	出店準備 6/30出店	第24週	報告書作成と面談1on1				
第10週	出店準備 6/30出店	第25週	報告書作成と面談1on1				
第11週	報告資料の発表	第26週	報告書作成と面談1on1				
第12週	報告資料の発表	第27週	報告書作成と面談1on1				
第13週	出店準備・経過報告	第28週	報告書作成と面談1on1				
第14週	出店準備・経過報告	第29週	報告書作成と面談1on1				
第15週	出店準備・最終報告	第30週	報告書作成と面談1on1				
評価方法	出席実績5割、ワークの提出内容2.5割、SNSの運用実績2.5割						
教科書 教材など							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	